様式２【発注者作成様式】

令和　　年　月　日

事業主管課長　様

技術企画課長　様

建設事務所（支所）長

工事等事故報告書

１．事故発生年月日 令和　　年　　月　　日（　）　　時　　分頃

２．発生場所

３．工事（業務）名

４．受注者名

５．契約金額 ￥　　　　　　　　　円（税込）

６．工期 令和　　年　　月　　日から令和　　年　　月　　日まで

　　（履行期間）

７．被害者の状況 別紙―１参照

８．事故発生の状況

（例）　○○工事に伴い、県道○線の上り線を片側交互通行で○○の補修作業を行っていた。

事故は、○○作業が完了し、擦り付け舗装を行うため一時、約○km先の資材置き場に戻り４ｔダンプに乗り換えて（施工箇所からL=○km先）にアスファルト合材を取りに行く途中であった。

○○付近で４ｔダンプが横滑り（原因不明）して、反対車線に飛び出し10ｔトラックと衝突し停止した。その後、しばらくして後続車両が、４ｔダンプが停止しているとは知らずに近づき、直前で気付いたが、間に合わず４ｔダンプの側面に衝突した。

９．添付書類

指名除外に該当する指名業者発生報告書（建設業者等指名除外要綱　別記様式第1号）

事故報告書（別紙－１）

事故詳細調書（別紙－２）

事故発生箇所図

事故状況写真

【受注者作成様式】

別紙－１

事故報告書

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日時 | 令和　　年　　月　　日（　）  　　時　　分頃 | 場所 |  |
| 被害者 | ・10ｔトラック  ・運転手  住所：  氏名：　　　　　（　歳） | 当事者 | ・乗用車  ・運転手  住所：  氏名：　　　　　（　歳） |
| 被害者内容 | ・10ｔトラック  ・運転手  会社名：  死傷程度：　　　（全治　ヶ月）  ※診断書の写しを添付すること。 | 当事者内容 | ・乗用車  ・運転手  住所：  氏名：　　　　　（　歳） |
| 事故の経緯 | 事故等速報（様式１）の「事故の概要」を記入のこと。 | | |
| 事故後の処置 | １．○○警察署の対応  　　時　　分頃現地に到着し現場検証を受ける。（　　時　　分頃現場検証終了）  ２．発注者への対応  　　時　　分頃○○建設事務所○○係長へ事故発生の通報。  　　時　　分頃規制解除  ３．○○労働基準監督署へ連絡  休日のためＦＡＸにて状況を送信済み（○○時過ぎにＦＡＸ送信） | | |
| 警察官の意見 | ・4ｔトラックが何らかの原因で滑った。  ・衝突の状態、当時の天候から見て衝突時の速度は○km/hで、走行超過は考えにくい。 | | |
| 労働基準監督署の意見 | ・　　月　　日に○○労働基準監督署○○安全専門官に説明。  ○○安全専門官より下請業者に災害死傷病報告書を届けさせることの指示を受ける。  他指示事項なし | | |

別紙－２

事故詳細調書

（1/3）

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 内容 |
| 当該工事（業務）現場の組織（一次下請は全て記入。事故該当工種は下段も記入） |  |
| 事故工種の組織及び下請けの建設業許可業種 |  |
| 事故工種  （作業時の安全及び施工管理体制） |  |
| 事故工種の作業体制及び作業内容 |  |

※内容の記載は、資料の添付に代えることが出来る。

別紙－２

事故詳細調書

（2/3）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 内容 | |
| 当該現場及び当該作業の安全管理の指導内容 | 工事全体 | 事故工種（作業）に対する指示・伝達事項 |
| ・始業前のＫＹミーティングの実施（元請と下請職長）  ・職長における作業員へのＫＹミーティングの実施  ・安全巡視員による巡視（２回）  ・安全教育の実施（月１回、半日以上）  ・本社、支店による安全パトロール（月１回） | 令和　　年　　月　　日（　）  ○：○から現場代理人が資材置き場にて始業前のＫＹミーティングを実施。  ・当日の作業予定　作業箇所、内容  ・当日の規制方法　片側交互通行  ・ＫＹ内容  1)危険のポイント  ・工事用車両出入時、一般車との接触  2)重点実施項目  ・交通法規の遵守  ・規制内徐行の励行  ・参加者　○人　作業員　○人  交通誘導警備員　○人  計　○人 |
| 当該作業に必要な保護具等の設置及び作業員の使用状況 |  | |
| 事故工種の作業に必要な法定資格届け出項目及び注文書の講ずべき処置の確認等 |  | |

※内容の記載は、資料の添付に代えることが出来る。

別紙－２

事故詳細調書

（3/3）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | | 内容 |
| 本来どうあるべきか  （事故の要因再発防止への具体的方策等） | | 原因　[1]運転手の気のゆるみ。  [2]　4ｔダンプの運転手は、道路線形（縦断勾配○％程度）、気象条件（時間雨量○mm：○町）、積載量（空荷）の認識不足だった。  [3]　4ｔダンプの運転の経験不足（○年）  対策　・安全運転の周知徹底を行い、全員に再度教育を行い安全意識の向上を行う。  ・朝礼時に輸送担当者には危険ポイントの明記した輸送経路図を配布し、輸送経路の確認を行い、周知徹底を行う。  ・○/○　13：00より工事部長を呼んで○○にて安全大会を実施し、職員、下請業者に対し交通安全教育の徹底を行う。 |
| 警察の意見 |  | |
| 労働基準監督署の意見 |  | |

※内容の記載は、資料の添付に代えることが出来る。

令和　　年　　月　　日

受注者　　　　　　　　　印

（下請業者が事故に関与している場合は、下請業者名の記入押印も行うこと）